

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【公開番号】特開 2015-18655 (P2015-18655A)
 【公開日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-006
 【出願番号】特願 2013-144371 (P2013-144371)
 【国際特許分類】

H 0 1 H 50/54 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 50/54 D

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 18 日 (2016.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電磁石コイルを巻回した固定コアと、該固定コアに接極、開極するよう対向配置された移動可能な可動コアと、固定接触子との間で接触圧を確保する接点バネを介して可動接触子を支持する可動絶縁台と、前記可動コアを前記固定コアから開極するよう配置された戻しバネと、固定接触子を支持する固定絶縁台と、を備えた電磁接触器において、

前記可動接触子は、第 1 の可動接触子と第 2 の可動接触子より形成され、該第 1 の可動接触子と該第 2 の可動接触子の間に圧縮バネを配置したことを特徴とする電磁接触器。

【請求項 2】

請求項 1 記載の電磁接触器において、

前記固定接触子より最も離れた位置に配置されている前記第 1 の可動接触子は、可動接点を有さず、電流は流さない構成であることを特徴とする電磁接触器。

【請求項 3】

請求項 1 記載の電磁接触器において、

前記第 1 の可動接触子の質量を M_1 、前記第 2 の可動接触子の質量を M_2 とすると、 $M_1 > M_2$ の関係であることを特徴とする電磁接触器。

【請求項 4】

請求項 1 記載の電磁接触器において、

前記第 2 の可動接触子は両端の下側に可動接点を配置し、該可動接点に対向する位置に固定接点を配置する固定接触子を設置したことを特徴とする電磁接触器。

【請求項 5】

請求項 1 記載の電磁接触器において、

前記第 1 の可動接触子と前記第 2 の可動接触子の間に配置する圧縮バネは、板バネであることを特徴とする電磁接触器。

【請求項 6】

請求項 2 記載の電磁接触器において、

前記第 1 の可動接触子は、鉄材または樹脂材であることを特徴とする電磁接触器。

【請求項 7】

電磁石コイルを巻回した固定コアと、該固定コアに接極、開極するよう対向配置された移動可能な可動コアと、固定接触子との間で接触圧を確保する接点バネを介して可動接触

子を支持する可動絶縁台と、前記可動コアを前記固定コアから開極するよう配置された戻しバネと、固定接触子を支持する固定絶縁台と、を備えた電磁接触器において、

前記可動接触子は、第１の可動接触子と第２の可動接触子より形成し、

該第２の可動接触子は圧縮バネとし、該圧縮バネの両端の下側に可動接点を配置したことを特徴とする電磁接触器。